

社会福祉法人すずかけの会 平成26年度事業報告書

1 理事会・評議員会の開催及び監事監査・指導検査の実施、許認可

(1) 理事会の開催

第1回理事会 5月25日(日)	第1号議案	平成25年度決算報告について
	第2号議案	平成25年度事業報告について
	第3号議案	平成25年度監事監査報告について
	第4号議案	就業規則の改正について
第2回理事会 12月21日(日)	第1号議案	ひまわりの来年度以降の運営方針について
	第2号議案	法人指導検査の指摘事項報告及び指摘事項による 役員報酬規程の改正
	報告事項：専決事項等について	
第3回理事会 3月22日(日)	第1号議案	経理規程の改正について
	第2号議案	平成26年度第1次補正予算について
	第3号議案	新規事業の開設について
	第4号議案	平成27年度事業計画(案)について
	第5号議案	平成27年度予算(案)について
	第6号議案	給与規程の改正について
	報告事項：専決事項等について	

(2) 評議員会の開催

第1回評議員会 5月25日(日)	第1号議案	平成25年度決算報告について
	第2号議案	平成25年度事業報告について
	第3号議案	平成25年度監事監査報告について
	第4号議案	就業規則の改正について
第2回評議員会 12月21日(日)	第1号議案	ひまわりの来年度以降の運営方針について
	第2号議案	法人指導検査の指摘事項報告及び指摘事項による 役員報酬規程の改正
	報告事項：専決事項等について	

第3回評議員会 3月22日(日)	第1号議案	経理規程の改正について
	第2号議案	平成26年度第1次補正予算について
	第3号議案	新規事業の開設について
	第4号議案	平成27年度事業計画(案)について
	第5号議案	平成27年度予算(案)について
	第6号議案	給与規程の改正について
	報告事項：専決事項等について	

(3) 監査の実施

監事名	監査実施日	監査項目
戸能監事 横尾監事	平成26年5月13日	定款第11条第1項の規定に基づき、平成26年度事業に係る理事の業務執行の状況及び法人の財産の状況

(4) 法人指導検査の実施

検査実施日	監査機関	改善を要する事項
平成26年10月28日	日野市福祉政策課	1. 役員・評議員の選任関係書類を整備すること。 2. 議事録を適正に作成、保存すること。

(5) 許認可等

許認可日	所轄庁	内容
平成26年7月24日	日野市	定款変更(基本財産増、所轄庁の変更等)

2 事業経営

事業種別	平成26年4月～平成27年3月
第2種社会福祉事業	1. 障害福祉サービス事業(生活介護) すずかけの家(主たる事業所・定員20名) 第2すずかけの家(従たる事業所・定員10名)の経営 2. 障害福祉サービス事業(共同生活援助) ひまわりの経営(定員6名)

3 施設利用状況

(1) 生活介護

(すずかけの家)

	開所日数	述出席数	述欠席数	1日平均 利用者数	出席率
4月	21	370	8	17.6	97.9%
5月	20	356	4	17.8	98.9%
6月	21	360	18	17.1	95.2%
7月	22	387	9	17.6	97.7%
8月	18	315	9	17.5	97.2%
9月	20	353	7	17.7	98.1%
10月	22	382	14	17.4	96.5%
11月	18	319	5	17.7	98.5%
12月	19	330	12	17.4	96.5%
1月	18	314	10	17.4	96.9%
2月	19	258	84	13.6	75.4%
3月	21	376	23	17.9	94.2%
計	239	4120	203	17.2	95.3%

※インフルエンザが集団感染のため2月17日～2月20日まで4日間の事業休止

(第2すずかけの家)

	開所日数	述出席数	述欠席数	1日平均 利用者数	出席率
4月	21	145	2	6.9	98.6%
5月	20	140	0	7.0	100%
6月	21	141	6	6.7	95.9%
7月	22	153	1	7.0	99.4%
8月	18	123	3	6.8	97.6%
9月	20	133	7	6.7	95%
10月	22	173	3	7.9	98.3%
11月	18	139	5	7.7	96.5%
12月	19	152	0	8	100%
1月	18	143	1	7.9	98.7%
2月	19	150	2	7.9	98.7%

3月	21	159	9	7.6	94.6%
計	239	1751	39	7.3	97.8%

総計	239	5871	242	24.6	96.5%
----	-----	------	-----	------	-------

○障害支援区分別利用状況 平均障害支援区分: 5.1 (単位 人)

支援区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
区分4	4	4	4	4	4	4	5	5	5	5	5	5	54
区分5	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	15	169
区分6	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	84
計	25	25	25	25	25	25	26	26	26	26	26	27	307

(2) 共同生活援助 (ひまわり)

○障害支援区分別利用状況 平均障害支援区分: 5.3 (単位 人)

支援区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
区分4	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
区分5	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	23
区分6	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	35
計	4	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	70

4 健康管理業務

(1) 医療体制

○すずかけの家・第2すずかけの家

嘱託医: 日野台診療所

○ひまわり

嘱託医: 日野台診療所、史歯科医院

(2) 健康管理

○年1回の健康診断の実施

○年2回の聴打診の実施

○年1回のインフルエンザ予防接種の実施

○年1回の歯科検診の実施

○看護師による健康管理・指導

○定時薬・臨時薬の準備と保管及び服用管理

○栄養士 (津山商店) による食事管理

5 防災対策

(1) 防災訓練

○すずかけの家

実施日	訓練内容	備考
5月28日	震災避難訓練	地震想定訓練

7 新規事業の準備

放課後等デイサービス事業	新規事業開設のための検討を開始
--------------	-----------------

8 人事労務・給与制度等

人事労務管理	就業規則の全面改正を行った。井澤労務管理事務所との業務委託契約
給与制度	給与規程の改正を行った
職員福利厚生	①職員福利厚生の充実のため、有期契約職員も含め、全職員の福利厚生センター（ソエルクラブ）への加入 ②全職員に対する定期健康診断・聴打診及び夜勤業務職員健康診断の実施

9 職員研修・行政関係等

研 修 内 容	主 催 者	参 加 者
ひまわり職員通所研修（昼食&作業）	ひまわり	橋本・高橋
グループホーム見学	ひまわり	仲本・真柄
虐待防止に関する研修	ひまわり	ひまわり職員
七生特別支援学校学校公開	七生特別支援学校	関
福祉職員職務階層別研修：初任者研修	東京都福祉人材センター	関
ダウン症成人期対応セミナー	日本ダウン症協会	岡和田
てんかん基礎講座	日本てんかん協会	井上
施設見学会	日野市障害者関係団体連絡協議会	荻原
きょうされん全国大会	きょうされん	井上
広報講習会	社会福祉法人福利厚生センター	岡和田
OJTスキルアップ講習会	社会福祉法人福利厚生センター	大浜
障害者歯科保健研修会	南多摩保健所	岡和田
オアシス15周年記念シンポジウム	東京弁護士会 高齢者・障害者総合支援センター「オアシス」	井上
歯ミフェスタ・多摩2014	東京都保健所	岡和田
福祉施設人事制度改革講座	日本コンサルティング	高橋
マカトンワークショップ基礎1・基礎2	日本マカトン協会	関
社会福祉法人・施設会計基礎実務研修会「会計基礎実務研修」	東京都社会福祉協議会	荻原
『個別支援計画』作成および運用に関する研修会	全国障害者総合福祉センター	清水
メンタルヘルス講習会（管理職向け）	社会福祉法人福利厚生センター	荻原
障害者のためのレクリエーション支援者要請研修会	全国障害者総合福祉センター	渡辺

日野市との意見交換会	日野市	9名
七生特別支援学校事業所説明会	七生特別支援学校	高橋
社会福祉法人協議会総会	東京都社会福祉協議会	高橋
東社協知的発達障害部会総会	東京都社会福祉協議会	高橋
障害者総合支援法関係事業者説明会	東京都福祉保健局	竹前・栗生

10 諸会議の開催

会 議 名		開 催 月 等
法人幹部会議		毎月1回実施
すずかけの家 第2すずかけの家	職員会議	毎月1回～2回実施
	ケース会議	4/23－個別支援計画策定 5/21－個別支援計画策定 6/25－第1及び第2の日課の再確認とそれに伴う支援の再確認 7/23－個人面談を終えての確認 8/27－内部学習「自閉症という障害を持つ人たちの理解と関わり」 9/24－個別支援計画の見直し 10/22－事業方針の見直し 1/28－平成27年度事業計画の見直し 2/25－個別支援計画の作成にあたって 利用者本位の計画とは 作成の手順 3/5－個別支援計画の作成にあたって すずかけの家重点支援5つの柱と考え方
	作業刷新計画会議	4/21・4/28・5/19・5/26・6/9・7/8・7/15・7/17・7/22 7/23・10/21・10/28・11/11・11/18・2/18・2/26・3/2 3/12・3/19・3/25
	給食会議	毎月1回実施
ひまわり	職員会議	毎月1回実施
	ケース会議	毎月1回実施

11 財務・事務管理

情報公開	当法人の情報公開開示規程を遵守しつつ、年2回（6月・10月）、機関紙「すずかけ」を発行
個人情報保護と共有	当法人の個人情報保護規程に基づき、利用者等関係者の個人情報保護に努めた。
苦情対応	当法人の苦情対応規程に基づき、利用者等の苦情に迅速に対応した

業務の効率化・コスト削減	光熱水費をはじめ、コスト削減に努めた。
契約の公正・透明性の確保	経理規程に基づき、競争入札のほか、随意契約についても原則相見積もりを励行した。
事務管理の適正化	経理規程、文書管理規程に基づき事務を実施。
第三者評価	当法人の事業所としたすずかけの家・第2すずかけの家が第三者評価を受審した。

平成26年度 すずかけの家 事業計画総括（年度末反省）

1、事業内容

1) 目的

- ・日々の活動や行事など様々な機会を活用して目的に沿った支援を行った。
- ・生活技術や生活文化を広げる行事を取り入れながら、働くことを中心とした活動を行った。

2) 基本方針

- ・基本方針に沿った支援を行った。
- ・利用者にとって最適な環境作りに努めて、個々に合った支援を行った。
- ・労働活動を中心に文化活動・健康づくり等の日課作りに努めた。
- ・個々の利用者の様子を職員全体で共有して、質の高い支援を行えるように努めた。
- ・作業や行事を通して、地域との関わりが持てた。
- ・人権についての施設綱領は未完であり、課題として残った。
- ・利用者への言葉掛けの丁寧さが根付いてきており、支援にも反映されつつある。

3) 活動日と活動時間

- ・概ね計画通りに行えており、行事や諸活動に合わせて時間の調整をした。その際に家庭や生活寮の協力を得られた。
- ・行事や諸活動に合わせて時間の調整をした。その際に家庭や生活寮の協力を得られた。
- ・欠席や送迎場所変更などの連絡を口頭ではなく、文書で行うように努めた。
- ・当日の担当職員は活動を円滑に進行するようにより努める必要がある。
- ・バザー当日の活動形態を外出活動に変更した。来客者が利用者に会えずに残念がる声も聞かれた。
- ・“第一すずかけの家”はインフルエンザ発症により、2/17(火)～20(金)の4日間が休所となった。

2、支援内容

1) 生活支援

- ・個々の状況に合わせて、個別支援計画や方針に沿った支援を行った。
- ・利用者自身で出来る事を増やす支援を行ったが、更なる、工夫と研究も必要である。

① 衣服の着脱

- ・衣服の調整は本人の様子や気候に合わせた配慮をした。
- ・季節の変わり目などは保護者の協力もより必要だと思われる。(厚着と思われる利用者が数名いて、動き難さがあると思われる。)
- ・定期的に着替えの予備の確認が十分に出来なかった。
- ・利用者の着衣の乱れが見過ごされていることがある。さらなる職員の努力と意識付けが必要である。
- ・身だしなみは気付く事から直すまでは難しいが、その都度の支援をした。

- ・衣服が体形に合わない難しさもあり、腰回りの乱れが目立つ。
- ・サイズの合わない服装の利用者も見受けられた。
- ・利用者間での靴の履き違い等があり、記名（分かり易い所に）の必要性を感じられた。

② 排泄

- ・外出前後のトイレ確認については職員間で確認など意識をもって取り組んだ。
- ・職員間の連携により利用者が一人でトイレに行ってしまうことが少なかった。
- ・男性利用者をトイレに一人で行かせない様に意識したが、“出来る様になった”経験作りには至っていない。（前に出る、手洗い、手を拭く等）
- ・男性トイレは汚れたら拭き取ることを重視した為に汚れが少なくなっている。
- ・立小便だと上手くできない利用者もいるので気を付けた。

③ 食事

- ・個々の状態に合わせて、食事量や二次調理などの調整をした。
- ・完食でき、残食が少ない。
- ・食事マナーについてはその都度言葉掛けを行った。注意し過ぎる事もあったので、注意することを絞って食事を促した。更なる研究と工夫も必要である。
- ・楽しく食事ができるように心掛けた。
- ・配膳や下膳の方法に利用者が慣れてきてスムーズになった。
- ・偏食の利用者への特別の手立てを行った。（“食べる”習慣作り）
- ・部屋を分けることで落ち着いて食事が出来ている。

④ 清潔

- ・外出後や活動後、食事前などの手洗いと消毒は定着してきている。
- ・上手な手洗いやハンカチでの拭き方については意識付けと更なる支援が必要である。
- ・ハンカチを携帯することは身に付いている。
- ・歯磨きは自分でも磨ける様に支援して、上達してきている利用者もいる。

⑤ マナーとことば

- ・公共の場を利用する際は場面に応じた行動ができるように言葉掛けをした。
（例）他者に何かをしてもらったら、お礼の気持ちを示せる様に等
- ・ボランティア等の来客者や訪問先に対しての挨拶が出来る様に支援をした。
- ・他者との適切な関わり方（過度なスキンシップなど）や丁寧な言葉遣いについて支援をした。
- ・利用者の呼び方は「〇〇さん」と“さん”付けすることと、言葉掛けはフレンドリーになり過ぎない様にすることは、改善されてきた。しかし、更なる努力と注意が必要である。
- ・マカトン法も有効に活用できる様に職員がより意識して使える様に努力することが必要である。
- ・丁寧な言葉遣いで支援することを心掛けたことで、意識できる利用者も出てきた。

⑥ 健康、体力作り

- ・体調を崩す人が少なく、健康に過ごせていた。
- ・朝の散歩は出来る限り行く様に心掛けた。職員不足により、朝の散歩や体を動かす機会を十分に取れないこともあった。
- ・“第二すずかけの家”では朝の体操ができずに、外作業の無い日の運動不足が課

題である。

- ・ 体育館でのストレッチ指導を仰ぐことができなかった。
- ・ 体育館活動の際は、前年度に引き続き、朝の送迎から体育館に直行することで、活動時間が多く取れている。
- ・ 行事の中に山歩きやハイキングを組み込んだ。
- ・ 看護師の指導の下で、保護者へも体重や食事などの管理の意識付けを行った。
- ・ ポスティング作業を体力作りに活用した。

⑦ 日直

- ・ 個々の利用者が出来るところで役割を果たせた。
- ・ ほとんどの利用者が日直の役割に関わっていた。
- ・ 日直を意識している利用者が増えてきており、また、役割の流れを理解している利用者も増えてきている。
- ・ 連絡帳配りは定着してきている。

2) 作業支援

- ・ 個々の状況に合わせて、取り組んだ。
- ・ 各作業の中で得意な工程を、それぞれに見つけることが出来て、意欲的に出来ている利用者もいた。
- ・ 大きな怪我も無く、安全に過ごすことが出来た。
- ・ 個々の担当者が努力しており、工賃の確保にも繋がっている。
- ・ 日中活動の精査と再編の為の検討チーム（SIP）を継続した。
- ・ “第一すずかけの家”はSIPでの計画を基に行ったことで一部の前進が見られた。ゆっくりな利用者も外作業に出る機会が増えた。
- ・ グループを曜日毎に構成したことにより、態勢作りが組み易くなった。
- ・ 作業室の入れ替え等を行い、作業が行い易くなり、とても良かった。
- ・ 依頼が無くなってしまった作業もあるが、売れ行き好調な製品の製造や新たな受注作業などで概ねバランスは取れている。
- ・ 計画に沿って行い、月 2,000 円を支給した。
- ・ 今後、支給額を少しでも上げられる様に検討が必要である。
- ・ 工賃支給の際の働く意欲に繋がる工夫が毎回は出来なかった。
- ・ グループ別外出やボーナス学習とお金を使う体験を取り入れ、楽しみにしている利用者も多い。

① 紙漉き製品（はがき・名刺など）

- ・ 品質の向上と製品開発に取り組んだ。
- ・ 地域の方々と共同制作を始めた“新選組ふるさとはがきは HINO-1 グランプリ 2014 の雑貨部門に於いて、準グランプリを受賞した。
- ・ ショップ「日野わーく・わーく」を中心に、“はがき”の売れ行きが伸びている。特に、恒例になっている“クリスマスカード”と“年賀状仕様”は好評である。
- ・ 紙製品の売れ行きがとても好調で、在庫の確保が厳しくなった。製造力拡大の検討が必要である。
- ・ 牛乳パック切り等の事前準備を意識的に行った。
- ・ 利用者の誰もが参加できる工程があり、利用者が役割を理解して行えた。また、準備や片付けなどをすすんで行う利用者もいる。
- ・ 新聞たたみや新聞交換の利用者が床に座るので冷たそうである。

② 公園清掃

- ・ 外作業をすることが少ない利用者も参加できる機会になっている。

- ・“第一すずかけの家”と“第二すずかけの家”が協力して作業を行い、午前中のみで終わることが多かった。
- ・“第一すずかけの家”は支援者と利用者の参加メンバーの考慮が必要である。
- ・ゴミ袋へのゴミの入れ方など、技術が向上している利用者も見られた。
- ・手提げのゴミ袋の購入で利用者一人でもゴミを集められるようになった。
- ・バザーチラシは配布した。

③ 資源回収・ちらしまき

- ・資源回収は参加できる利用者が固定化している。
- ・地域に定着しており、挨拶や声を掛けてもらうことがある。また、直接取りに来てほしい等の依頼もあった。

④ ポスティング（チラシ配り）

- ・配布活動は個々にあった支援をした。
- ・通常のポスティング以外にも、ボランティアや「日野わーく・わーく」を通じての依頼があった。
- ・創木の配布状況が分かるようになり、作業を組みやすくなった。
- ・創木の目標枚数を設定して、管理することで、月毎で安定的に配布出来るようになった。
- ・SIPでの計画により、“ゆっくり組”を作ったことで多くの利用者が参加することが出来た。
- ・折っても良いチラシは折っておく等の配る準備も行ったが、多種類や異なった形状のチラシでポストに入れ難いこともあった。

⑤ 畑（園芸）

- ・外作業の機会の少ない利用者も外に行く良い機会となっている。
- ・特定の保護者ボランティアの協力で雑草も少なく、維持ができています。
- ・ゴーヤがとても上手にたくさん収穫が出来て、成長を楽しみにしている利用者もいる。
- ・収穫した野菜を順番に利用者が持ち帰ることが出来た。
- ・上手く生育させることができなかった作物もあった。
- ・作業の際に担当者からの詳細な指示があると良い。
- ・長靴や道具がバラバラになっていて、使い難かった。

⑥ 陶芸

- ・皿を中心に作った。
- ・一枚につき50円が工賃となるように、皿の価格を変更した。
- ・窯のメンテナンスができると良い。

⑦ 教材の仕分け

- ・誰でも取り組める作業となっており、上手な利用者も多い。
- ・両手をしっかりと使うので、とても良い。
- ・少しずつ作業を取り入れていくことで、バザー前まで雨天時の室内作業として、有効的に活用することが出来た。
- ・教材の積み方に注意をして、安全な保管ができた。

⑧ 袋詰め

- ・好きな作業として、積極的に参加する利用者もいる。
- ・マッチングを試みる機会があまり作れなかった。

